

県立広島大学 庄原キャンパス 「平成27年度重点研究事業」 成果発表会プログラム

平成28年8月23日(火)

会場

庄原C：1201講義室

三原C：4103講義室 広島C：1239講義室

10:00 ~ 16:30

順番	発表時間 (質疑応答を含む)	研究区分	研究計画代表教員			研究課題名	小冊子 ページ	発表者	
			所属	職名	氏名				
	10:00~10:10	開会挨拶・進行説明	(開会挨拶：研究推進委員会 委員長, 進行説明(司会)：事務局(経営企画室))						
①	10:10~10:30	学際的・先端的研究(A)	生命環境・生命科学	教授	稲垣 匡子	食餌性脂質による胃レプチンシグナルを介した胃粘膜制御機構の解析	3		
②	10:30~10:50	学際的・先端的研究(A)	生命環境・生命科学	教授	荻田 信二郎	植物有用機能の安定化に寄与する常温ガラス化技術の開発	5		
③	10:50~11:10	学際的・先端的研究(A)	生命環境・生命科学	准教授	菅 裕	次世代シーケンスデータの新規解析法の開発とその環境ゲノミクスへの応用	7		
④	11:10~11:30	学際的・先端的研究(A)	生命環境・生命科学	准教授	津田 治敏	広島牛の乳汁における乳酸菌の分布およびその機能性に関する研究	9		
⑤	11:30~11:50	学際的・先端的研究(A)	生命環境・環境科学	助教	松本 拓也	フグ毒テトロドキシンの尿中排泄メカニズムに関する研究	11		
	昼休憩(1h)								
⑥	13:00~13:25 (学際先端Sは25分)	学際的・先端的研究(S)	生命環境・生命科学	教授	田井 章博	アスコルビン酸誘導体及びアスコルビン酸類似体の創製と応用に関する研究	19		
⑦	13:25~13:45	地域課題解決研究	生命環境・環境科学	准教授	小林 謙介	広島県東部での小規模発電事業を含めた木材の総合的利活用策の検討	47		
⑧	13:45~14:05	地域課題解決研究	生命環境・生命科学	教授	野下 俊朗	広島県北部中山間地域に適したミシマサイコ栽培法の確立	37		
⑨	14:05~14:25	地域課題解決研究	生命環境・生命科学	准教授	甲村 浩之	アスパラガスの冬採り促成栽培法確立のための技術開発	39		
⑩	14:25~14:45	地域課題解決研究	生命環境・生命科学	教授	黒木 英二	耕作放棄地を活用した「ナマズ養殖」による地域6次産業創出と地域活性化に向けた「ナマズ」含有成分等からのアプローチ	35		
	休憩(10分)								
⑪	14:55~15:15	地域課題解決研究	生命環境・生命科学	准教授	堀田 学	タブレット端末活用による条件不利地域の高齢者支援の検討	41		
⑫	15:15~15:35	地域課題解決研究	生命環境・環境科学	教授	西村 和之	適正なアユ放流時期の選定に関する調査研究	43		
⑬	15:35~15:55	地域課題解決研究	生命環境・環境科学	准教授	青柳 充	山林伐採地と耕作放棄地を利用し生産した地元産優良品種ウルシの化学的・生物学的特性評価	45		
⑭	15:55~16:20 (学長Pは25分)	学長プロジェクト	生命環境・生命科学	教授	入船 浩平	里山資源を見直し新たな地域の価値を創生するプロジェクト研究	23		
	16:20~16:30	学長講評・閉会挨拶	(講評：学長, 閉会挨拶(司会)：事務局(経営企画室))						

